

令和5(2023)年度函館市公共下水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

令和5年度の処理区域内人口は216,693人となり、前年度に比べ3,802人減少したが、下水道普及率(行政区域内人口に対する処理区域内人口の割合)は91.0%となり、前年度に比べ0.1ポイント増加した。

また、水洗化区域内戸数は135,432戸、水洗化済戸数は130,964戸となり、水洗化区域内戸数に対する水洗化済戸数の割合は96.7%となり、前年度に比べ0.1ポイント増加した。

事業収益については、下水道使用料や長期前受金戻入の増加等により、前年度に比べ6,851,371円の収入増(0.1%増)となり、総額で7,636,723,135円となった。

事業費用については、委託料や減価償却費の増加等により、前年度に比べ96,187,573円の支出増(1.5%増)となり、総額で6,493,997,111円となった。

この結果、当年度の収支は、前年度に比べ89,336,202円減少し、1,142,726,024円の純利益を生じた。

建設改良事業については、下水管渠工事、南部下水終末処理場汚水処理施設反応タンク設備工事等を予定どおり施行した。

なお、汚水処理施設事業および函館湾流域下水道事業費負担金で、合わせて534,011,000円が建設改良費の繰越額となっている。